日本共産党 高知県議会 活動報告ニュース　県議会控室 823-9524　自宅 872-9324　高知市丸の内1-2-20　高知市福井町1475-3

2022. 10. 23
NO. 747

「統一協会」との関係を断ち切り、被害防止及び救済を求める意見書案 自民・公明・一燈立志の会の反対で否決

なんと!!

10月14日の県議会最終日、日本共産党と県民の会が提出した統一協会との断絶を求める意見書（左下の写真）案の採決が行なわれました。

議長と欠員1のため）中、自民党25、公明党2、一燈立志の会3人の全員が反対し、意見書は否決されました。

議員定数は37ですが（高知市選挙区で欠員1のため）中、自民党25、公明党2、一燈立志の会3人の全員が反対し、意見書は否決されました。

反対討論に立った自民党上治県議（安芸郡選出）は、「趣旨には賛同するが、政府が行政機関として完全に関係をもたないことは現実性がないので反対する」と、「断ち切る」という言葉を曲解した苦しい言い訳をすることに。

今回も、これまでも、共通の問題としてつけとめている課題の意見書については、文言修正などの協議を重ね、全会一致で可決するための努力をしてきました。そうした協議の要請も一斉なく、この内容については、"可決させない"という構えだったということで、本当に残念です。賛成討論に中根がたちましたが、「県民、国民は、政治が統一協会との関係を断ち切れるのか、厳しく注目しています。これは、すべての政治家の根本姿勢に関わる問題であり、今なお苦しむ被害者救済のためには避けては通れない意見書だと考えます。県民の負託にこたえる県議会の役割を国への意見書という形で示そうではありませんか」と討論の最後をしめくくりました。

↑本会議採決の様子。賛成議員10人（日本共産党5人、県民の会5人）が起立しています。

世界平和統一家庭連合との関係を断ち切り、
被害防止及び救済を求める意見書（案）

世界平和統一家庭連合（以下、「旧統一教会」という。）は、霊感商法や集団結婚など、社会的に多くの問題を起こし、多数の被害者を生んできた。高額な献金の強要や正体を隠して行う伝道は、裁判でも違法性が指摘されている。このような反社会的な活動を行う組織と政府及び政治家が関わることは、その活動にお墨つきを与え、広告塔の役割を果たして、被害を拡大することにつながる。

世論調査では、「政治家は旧統一教会との関係を断ち切るべきかどうか」との問いに82%が「断ち切るべきだ」と答えており、政治と旧統一教会との関係に国民の厳しい視線が注がれている。

岸田文雄首相は、信教の自由は憲法上保障されていると留意しつつ、「宗教団体であっても、社会の構成員として関係法令を遵守しなければならないのは当然である一方、政治家側には、社会的に問題が指摘される団体との付き合いには厳格な慎重さが求められます」として、大臣、副大臣、政務官について、旧統一教会との関係を断つことの確約を得たと述べている。加えて、自由民主党としても、関係を持つことがないようチェック体制を強化するとしている。

旧統一教会による被害は続いており、全国で被害相談や「宗教二世」からの深刻な相談も寄せられており、各省庁が連携し被害の防止及び救済に当たることが求められている。

よって、国におかれては、次の事項につき、実現されるよう強く要望する。

1　政府及び国会は、反社会的な活動を行う旧統一教会と政府・政治家との関わりを徹底して明らかにし、今後においては、一切、関係を断ち切ること。
2　専門家や民間団体と連携し、旧統一教会による被害の実態把握を進めるとともに、その被害防止及び救済に当たること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

てくてく歩記（744）

わたしの
金木せい、銀木せいの かおりが
ただよう季節になりました。これから
ぐっと寒くなるんだろうなと思いながら
まだ半袖をしまえない日々です。
コロナも ゆだんできません。風邪も
ひき始めの方も。お気をつけください。